

'92 **12.1**

NO. 741

奈良市役所は、すべての
土曜日は休みです。



ならしみん だより

さ〜て、だれが一番うまく
けずれたかな。

——学校が休みの第二土曜日
(11月14日)に開かれた「済美
南小フェスティバル」でのえ
んぴつけずり競争。

市民のうごき (11月1日現在)



人口 355,122人 (前月比 310人増)
男 170,550人 女 184,572人



世帯数 122,171

今	ニュース——2・3
月	人が人として尊重される社会を——4・5
の	リサイクルで頑張っま〜す! ——6・7
ベ	12月9日は障害者の日
ー	みんなのページ——8・9
ジ	奈良大和路キャンペーンイベント——10・11
	お知らせ——12~15
	シリーズ ならまちの四季⑨——16



“芸術の秋” 美術館では入江芸術を楽しむ人の姿が…

10万人目の入館者として美術館から記念品を贈られた反田博俊さんは、二男の泰博くん（5歳）と服飾の勉強に来ているバングラテシュのシャミム・アブローズさんの3人で訪れ、思わぬ幸運に喜んでいました。



.....写真美術館.....

早くも10万人 入江芸術を鑑賞

今春4月に開館した写真美術館（高畑町）の入館者が早くも10万人を越えました。

この美術館は、奈良をこよなく愛して生涯大和路を写真に撮り続けた、写真家の故入江泰吉さんから全作品の寄贈を受けたのをきっかけに市が建設。西日本初の写真専門の美術館としてオープンしました。

開館以来、入江さんの数万点にもおよぶ作品からテーマを決めた企画展を開き、四季折おりの風景や崇高な仏像の姿など、奈良大和路を入江芸術で魅力いっぱいに紹介しています。

同館では10万人の入館を記念して、11月1日、ちょうど10万人目の入館者となった反田博俊さん（高畑町）に、カメラや入江さんの複製写真などを贈りました。

.....金婚祝賀会.....

末長い幸せ祝って 125カップルを招待

大川市長が一組一組に祝酒をついで回る



結婚50周年を迎えられたご夫婦をお祝いする「金婚祝賀会」が11月3日に市役所で開かれ、昭和17年に結婚されたご夫婦125組を招待しました。

祝賀会は、祝儀能「春日龍神」で幕を開け、続いて、大川市長が夫人とともに「おめでとうございます」と一組一組に言葉をかけながら祝酒をついで回りました。この後、ちょうどこの日が金婚式という2組のご夫婦が代表でウェディングケーキに入刀。そして、茶話会に移り、漫才などを楽しみながら、ともに歩んだ50年の喜びをかみしめていました。



子どもから大人まで様々な芸能を披露

.....市文化祭.....

多彩なイベントで “文化の秋”楽しむ

今年も10月から11月の2カ月にわたって市の文化祭が開かれました。

10月17・18日にはすっかり恒例になった市民参加のフェスティバル「八重桜祭」が開かれ、631人もの市民が舞踊や演芸など、日ごろ練習した芸能の成果を発表しました。

11月1日には、バリ島のスマララティ歌舞団の民族色豊かな舞台が、また20日には日本の伝統芸能「落語」の公演、このほかコンサートや美術展など多彩な催しに多くの市民が“文化の秋”を楽しみました。

・・・隣保館文化祭・・・

許さないぞ差別 展示や発表で訴え

劇で人権の大切さを訴える子どもたち



部落差別の完全解消のため、様々な活動に取り組んでいる市内の8隣保館で11月、文化祭が開かれました。

各館では、それぞれにテーマを決め、日ごろの活動や学習の成果がパネルや作品展示などいろいろな形で紹介されました。また隣保館の補充学級で学ぶ子どもたちも、差別のおこりや身の回りにあるいろいろな矛盾を劇などで発表し、部落差別をはじめあらゆる差別のない明るい社会の実現を力いっぱい訴えていました。

・・・市民サービスコーナー・・・

住民票の写しなど 土曜日も窓口サービス

11月14日、西大寺東町の奈良ファミリー5階のシティサービスサロン内に「市民サービスコーナー」がオープンしました。

ここでは、オンラインの端末機を設置し、住民票の写しなどの窓口サービスを行っています。業務時間は月曜日から土曜日の午前9時から午後5時（日曜・祝日、年末・年始は休み）で、つぎのような事務を取り扱っています。

＜取り扱い事務＞住民票の写し、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、年金現況証明書、外国人登録済証明書、戸籍謄・抄本（除籍は除く）および戸籍の附票、以上の交付（土曜日は戸籍謄・抄本および戸籍の附票の交付はできません）

奈良ファミリーに開設された市民サービスコーナー



・・・奈良工芸フェスティバル'92・・・

伝統工芸発展に使い手の後継者づくりを

「伝統を共に語る、次代を共に創る」をテーマに「奈良工芸フェスティバル'92」が11月7日、8日の2日間、ならまちセンターを主会場に開かれました。

初日は、美濃陶芸協会名誉会長の加藤卓男さんが、「シルクロードと日本文化」をテーマに特別講演。続いて、生活エッセイストの高森寛子さんが「今、使い手の後継者づくり」のテーマで「伝統工芸を次代に伝えていくためには作り手だけでなく、使い手の後継者づくりの両方を問題としてとらえていかなければならない」と訴えました。

8日には、奈良工芸食談義、小会議、工芸100人会議が行われ、作り手と使い手それぞれの立場から奈良工芸を次代に伝えていくためにどうするべきか議論が交わされました。



「今、使い手の後継者づくり」をテーマに講演する高森寛子さん（左写真）

小会議では、使い手と作り手が一堂に会し、これからの奈良工芸のあり方について話し合いました（下写真）



お互いが一人の人間として

みとめあえる社会を

「人権」私たちは当然認められるものとして人権をとらえています。けれども、全世界のすべての人びとの人権が守られることを明らかにしたのは、公的には一九四八年の世界人権宣言が最初でした。

十二月十日は、世界人権宣言が国連で採択されたことを記念する「世界人権デー」、四日〜十日は「人権週間」です。この機会に「人権」の意味と大切さを、もう一度考えてみましょう。

裁判官は

男の職業？

二人の裁判官が、夕食後仕事のことについて語り合っています。

「今日の裁判の男をどうしましょうか？もし、あなたが私だったら、どのように裁きますか？」

一方の裁判官が、もうひとりの裁判官に話しかけました。すると、意見を求められた裁判官は

「あなたは、私がそのようなことに答えられないということをご存知ではありませんか。彼の父親は、五年前に死んでしまったというだけでなく、彼は私の息子ですから……」と答えました。

この文章、どこかおかしいと思いませんか？実は全く正しい文章なのです。この「意見を求められた

社会で働くのは
男性…？



裁判官」を、「今日の裁判の男」の母親と考えれば、どこにも矛盾のない文章だとわかります。

「おかしい」と感じたとしたら、「裁判官＝男性＝五年前に死んだ父親」と思ったからではないでしょうか。男女平等と言われ、社会に出て働く女性が増え続けている現在、「男は仕事、女は家事」という役割分担が絶対だと主張されることはほとんどなくなりました。

けれども今だに、社会で働くのは男性という考えが、私たちの心の中にあるようです。

人権は

発展している

「人権を守る」よく聞く言葉ですが、この「人権」とはいったいどういうことを言うのでしょうか？

「人権」を辞書で引くと、「人間が人として本来もっている権利」とあります。

十八世紀末のアメリカやフランスで、初めて人権というものが主張され明記されたとき、人権は国から干渉されないさまざまな自由を意味していました。ところが

が第一次世界大戦が終るころから、人権は逆に国が積極的ににかかわることによって保障される、教育や、社会保障や、労働の権利をも含むものとなったのです。

そして現在。私たちが、「人権を守る」というとき、それは例えばプライバシーの侵害や、学校でのいじめに對してであり、女性や障害者や外国人や同和地区の人たちに対する差別言動とその裏にあるべつ視感やねたみ意識に對してであつたりします。

このように見てくると、人権に對する考え方が時代と共に発展してきていることがわかります。

知らない権利は 守れない

今、人権は「お互いを一人の人間として認めあう」という大きな意味で考えられています。これは

世界人権宣言に

ついて

一九四八年十二月十日に国際連合第三回総会で採択された宣言。

「人権の無視と軽侮とは、人類の良心をふみにじつた野蛮行為を生ぜしめ」（前文）という、第二次世界大戦の反省から、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」（前文）として定められました。

前文と三十カ条から成り、一〜二十条でさまざまな自由に関する権利を定め、二十一〜二十七条で参政権、二十二〜二十七条で社会保障などの社会的権利を定めています。

この宣言は、条約のような法律上の拘束力は持っていない

部落解放研究 第26回全国集会 ママさん特派員が初参加

9月29日から10月1日の3日間、大阪市で「部落解放研究第26回全国集会」が開かれました。この大会は、学者や企業、行政・教育関係者、部落解放の運動にとりくむ市民などが集まり、これからの部落解放運動を考えようというものです。

1万2千人もの参加があったこの集会に、今回初めてママさん特派員が参加しました。塚崎志津代さん、松村せつさん、榮田由紀子さん、中尾光子さんの4人です。

初日の全体集会には塚崎さんが参加。公民館の婦人学級で同和問題を学習したという塚崎さんは、「地球環境と人権」というテーマの記念講演に、「大きい問題ですね、もっと勉強しなくては」と一言。



松村さんと榮田さんは2日目です。18の分科会の中から「被差別体験と解放運動入門」を選んで参加しました。発表者自らの被差別体験が、時にはユーモアをまじえて、時にはくやしさを思い出して涙を流しながら話され、松村さんは「同和問題は幼いころ親から「差別がある」というのを聞いたぐらいで全然知らなかった。実体験を直接聞くことで「自分だったら…」と考えた」と感想を述べていました。

最終日に参加したのは中尾さん。奈良に生まれ育って、同和問題もある程度は知っていたという中尾さんは、「お互いにある心の殻を取りのぞかねば、と考えるんですよ」と言っていました。

P.T.Aで同和問題に取り組んでいた榮田さんが、子どもに影響を与える親の知識不足を指摘していました。今回参加した4人のうち3人までが同和問題を数年前に知ったといい、「うわさでしか知らないなぁ」。この集会に参加したことで実情を直接見聞きして、「こういう集会にもっと多くの人が参加できれば…」と自分の目で差別を見つめることの大切さを感じていました。



言いかえれば人をその性や、出身地や家柄、学歴や職業といった属性で判断してはならないということとです。

けれども残念なことに、私たちの日々の生活の中で、こういった人権は必ずしも実現されてはいません。「男のくせに」「女のくせに」というような言葉はしょっちゅう耳にしますし、学校の成績などで子どもを判断するものもありがちです。そして、このような態度を

とった人は、自分がその一言で他人の人格を決めたというところをおそらく自覚していないでしょう。言いかえれば、人権への軽視が自覚されにくいというのが、今の日本の現状のようです。

人権は、誰もが生まれながらに持っている権利ですが、それが認められたのは、人間の長い歴史の中でつい最近のことです。日本に於いていうなら、一九四六年の日本国憲法によって認められたわけで、たった四十六年前のことです。

加えて、人権という権利自体も「人として当然」持っているもので、普段意識されることが少ないものです。

ですから、「知らない権利は守れない」といいますが、人権とは何かということを常に意識してい

ないと、知らず知らずのうちに、「人として当然」のはずの人権を侵害し、当然ではないものにしてしまいます。日本国憲法の十二条は「国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によってこれを保持しなければならない」と述べ、このことを端的に言いあらわしています。

人権を守り、お互いが人間として認めあう社会をつくるためには、まず人権とは何かを考え、しっかりとした人権感覚を身につけることが必要です。

人権を 守るために…

え方や制度が数多く残っています。これらをなくしていくのは、他の誰でもなく私たち自身です。

冒頭で掲げた裁判官の文章を思い出してください。男だから、女だから、という理由で生き方を決めつけられるのは男女差別ですが、これは社会で長い間通用し、教えられてきた考え方もありました。ですから未だに私たちの意識には、多かれ少なかれ、このような考え方が残っています。

普段、生活していて「あれっ」と思ったことはありませんか。不合理だな、何か理屈に合わないな、と感じたら、その感覚を大切にしましょう。そしてもう一步、その物事のどこが、どうおかしいのか考えてみてください。

人権の問題は、あなたの生活の中にあるのです。



人権週間の街頭啓発

せん。けれども人権の内容を明確にしていることから、それ以降に生まれた各国の憲法や人権条約に大きな影響を与えています。この宣言を採択した十二月十日は、一九五〇年に「世界人権デー」と定められました。そして日本を含め各国で、この日に先立って一週間を「人権週間」として、宣言の目的の実現をめざしています。

リサイクルで 頑張っ~てま~す!

—12月9日は障害者の日—



障害をもっている人の多くは様々な社会的ハンディを乗り越え、自立しようとしています。

12月9日は「障害者の日」。その日から15日までは「身体障害者福祉週間」です。障害をもっている人の努力を認め、社会への「完全参加と平等」のためにも、共に社会の構成員として支えあっていくことが必要です。今回はそんな自立しようと頑張っている人たちを紹介します。

ここは左京五丁目の奈良市環境清美センター内の資源回収作業場、障害者の自立と社会参加をめざして、障害者の親らがつくる「奈良市手をつなぐ親の会」が市に働きかけ、昨年3月から活動をはじめました。作業員はきくこさん、くによしくん、じゅんいちくん、の3人。指導員の宮野さんやボランティアの人たちと共に毎日リサイクルに励んでいます。

主な作業はセンターに搬入されてくる新聞、雑誌、ダンボールを再び資源として利用するための仕分けと整理です。古着や不用品のリサイクルもやっています。一口に仕分けと整理といっても、リサイクルにはできるだけ同質のものを集めた方が業者にも引きとってもらいやすいので一つ一つ丁寧に分けます。ダンボールなどは小売店などから搬入されるものが多いので、内側には製品を守る発泡スチロールなんかもついていてけっこう大変。そうして分けたものを梱包機にかけて束ね、それぞれの所定の場所に積み重ねていきます。みんなから「キクちゃん、キクちゃん」と呼ばれてい

▶古着、古布も業者に買ってもらってリサイクルに回してもらっている。工業用に使われる。「まだ着られるよ」



◀ダンボールの発泡スチロールをはがす作業は大変

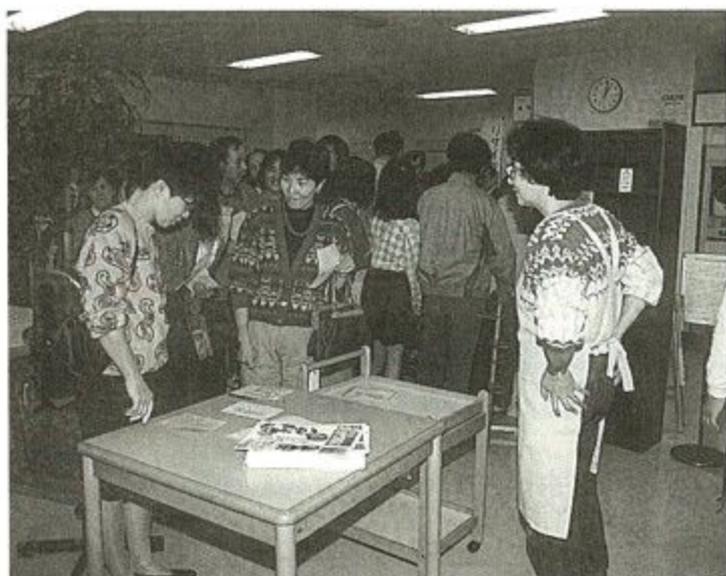


るきくこさんは一つ年上ということもあってリーダー役。じゅんいちくんやくによしくんに作業をしながら「これ手伝って」と呼びかけうまく引っ張っていきます。二人も呼ばれると冗談を飛ばしながら機械を操作。指導員の宮野さんも「みんなけっこう楽しんでるんですよ。しっかりしているし」と嬉しそう。

1日に処理する量は平均

で約0.7t。2日に一度回収にくる業者に引き渡します。ダンボールや新聞、雑誌などの古紙も今ではほとんど値が付きません。だからタダも同然の値段。それでも4人の顔からは笑顔が絶えません。

搬入の間には電気コードの皮をとって導線だけにする作業などをしていきますが、カッターを使うし危なくないのかと聞くと、「手



「全部本当に捨てられたものだったの」と参加者。みなさん大切にしてくださいね

初めてのリサイクルバザー

を切ったのは宮野さんだけ」とみんな屈託がない。キクちゃんも「こうしてみんなと作業できるのは本当に嬉しい」と話してくれました。指導員の宮野さんも、「今

は3人だけれど将来人数も増えるだろうし、この作業場を卒業して自立してくれる子も出てほしい。ここで働く喜びを感じてもらえたら」と話していました。

11月1日の総合福祉センターでのふれあい大会。彼らとボランティアの人たちが主催で初めてリサイクルバザーを開きました。バザーで並んだ品は、大型ごみとして排出されたも

のや工場へ搬入されてきた不用品。環境清美センターからまだ使えるようなものを譲ってもらって作業の合間にボランティアの人たちにも手伝ってもらって一生懸命磨きました。

会場には時計、ステレオ、掃除機にファンヒーター、扇風機もあれば机、食器棚、自転車と小物も含めると全部で152点が並びました。値段が一番高いのもでも5千円と破格で、1人1品という制限がなければ、「1万円で所帯道具がそろうのでは」と思われるほど。

きれいに磨かれ輝きをとりのどした品々に会場を訪れた人たちは、ふれあい大会の始まった午前中から目を光らせて品定め。午後1時からというのに正午あたりから続々と人が集まり、200人近くの行列ができていました。

そして午後1時開場されると、なんと10分も経たないうちに自転車20台が売り切れ、時計、ステレオと次々に商談が成立。20分後には数点を残してほとんど完売してしまいました。作業所の3人もボランティアの人たちも思いもつかぬほどの反響にとても満足していました。バザーのあと、キクちゃんにたくさん持って帰ってもらってよかったねと声をかけると「うん。だってもったいないよ」と答えて

くれたのが印象的でした。そして会場を訪れた人たちも「どれも誰かの家にあつたものばかりなんですよね」とそれぞれの生活を見つめ直していました。



“あっ”と言う間に売却済続出

生ごみだい肥化容器 購入助成制度

家庭用簡易焼却炉

家庭でのごみ減量を実践してもらおうと、市では生ごみだい肥化容器・家庭用簡易焼却炉の購入助成を行っています。

希望者は電話かほかで資源対策課（〒631左京五丁目2 環境清美事業部内 ☎099000、08018）へ申し込んでください。後日助成金交付券を送りますので、この交付券を持って左表の取扱指定店で購入申し込みをしてください。助成額は購入価格の2分の1で限度額はたい肥化容器が5千円、焼却炉が1万円。

取扱指定店名(営業所)	住所	電話	容器	炉
奈良市農業協同組合本・支所	柏木町(本所)	034-3033	○	○
ゆめ和藤商店	中清水町	26-2162	○	○
玉谷産業奈良営業所	菅原町	45-4663	○	○
ネッコー特機販売	法蓮西町	27-2365	○	○
奈良市民生活協同組合	恋の窪一丁目	34-8735	○	○
大原農機三條通店	角振町	22-7146	○	○
創美興産	西九条町二丁目	62-8094	○	○
加藤商会	今市町三丁目	61-4541	○	○
辻本鉄工建設	神殿町	62-0433	○	○
フクロク商店	学園大和町一丁目	44-5510	○	○
ホームセンターザイツ	南京終町四丁目	34-5017	○	○
あらし商店	手貝町	22-3179	○	○
三和設備工業	川上町八反田	26-3845	○	○
平和堂	西木辻十三軒町	26-6729	○	○
近商ストアハンディマン富雄店	富雄北一丁目	43-6662	○	○
近商ストアハンディマン登美ヶ丘店	登美ヶ丘四丁目	45-0875	○	○
奈良第一食糧	今市町	62-3131	○	○
小笹金物店	学園大和町三丁目	45-0314	○	○
総合百貨すぎた	三條大路五丁目	33-0478	○	○
家庭日用品すぎた	坊屋敷町	22-3171	○	○
美幸産業	杉ヶ町	23-3201	○	○
共栄金物店	あやめ池南五丁目	43-3461	○	○
エコーブ奈良	青山四丁目	23-3618	○	○

みんなのペー まの 話題 ジ

登大路町の県文化会館、十月二十八日。正午きっかりに美しい歌声がホールに流れはじめました。

奈良市ママさんコーラス協議会が主催する「第十九回ママさんコーラス発表大会」は、今年二十のコーラスグループの参加で華やかに開



この衣装、スカートは手づくり。他のグループの曲も

「緊張しました！ ママさんコーラス発表大会」



かれました。年に一度の晴れ舞台とあって、さまざまな衣装に身を「つんだ「ママさん」たちは、みんな少々緊張きみ。

けれども、ステージ裏の楽屋では舞台上の神妙な顔はどこへやら、出番待ちのグループの興奮した表情と、終わったグループのおしゃべりとで、そのにぎやかなこと、楽しそうなこと。

「どきどきしています」とは、出番を待つ「都跡コーラス」の小嶋さん。「コール・フランチェスカ」は出場三回目、小野田さん曰く「初めて出た時は、かえって度胸がすわったけれど、回を重ねるにつれて緊張するみたい」。そして緊張と興奮のうちに歌い終えると、「出る前は、歌詞忘れた」とかわあわ言っていて、いざ本番となるとあっという間に終わってしまった感じ。もっと歌いたいなあって思うのよ。出番を終えたばかりの「ミオ・マドリガル」では、着替えながらも口々に感想をおしゃべりしていました。



「次が出番なんです」
どきどきしながら待つ時間も楽しい

普段は生活の中で、家事に育児に忙しい「ママさん」たち。非日常的なステージの上で生き生きと歌う彼女たちの晴れ姿は、観客の温かい拍手をあびていました。

私の好きな本

BOOK



「ローラ、叫んでごらん」

リチャード・ダンブリジオ著

(サイマル出版)

新宅規子(28歳)

西大寺南町

この物語のタイトルである少女ローラは、一歳半で精神的に病んだ両親によって生きたままフライパンで焼かれ、その後カトリック系の孤児院に預けられました。彼女はその幼い時の心の傷から自分の殻に閉じこもっていました。

この物語の著者であるリチャード・ダンブリジオはこの少女と出会い、彼女の殻を破り彼女が生きた屍ではなく一人の少女として生きて行くために手を貸すことになりました。

外の世界には何の反応も見せなかったローラに対してのリチャードの根気強い接触が彼女の鉄のようには堅い殻を破り、ローラが人間としての感情を見せた瞬間、私は自分がリチャードであるような感動を覚ええました。彼女は自分の殻の中で一人苦しんでいたのです。

最後に十七歳の彼女が自分の足で未来に向かって旅立った時は、彼女の未来を祈る気持ちと共に、彼女と別れることに対し少し寂しい感じがしました。それほど私はこの物語に引き付けられていたのです。

これは、ローラとリチャードとの五年にわたる戦いであり、また彼女に「愛」を与えるための無償で働いているシスターたちの戦いでもあります。

この物語は実話であるだけに、より私に人間のすばらしさと可能性を信じさせてくれました。

シエーネン・コール
フラウエン



サークル
紹介

“フラウ”は婦人、“シェーネン”は美しい、“コール”は合唱の意味。私たち“フラウエン・シェーネン・コール”はつまり、「美しい婦人たちの合唱団」です。飛鳥小学校PTAコーラスを卒業した人が歌える場所を、と12年前に結成しました。今では他校区の人も参加し、人数も30人。若いお母さんからお孫さんのいるおばあちゃんまでと年齢層も幅広く、明るく楽しく歌っています。



休み時間は
おしゃべり

また「楽しいだけではなく、より良く歌えるように」という先生の熱心な指導のもと、地味な発声練習にも力を入れています。曲はステージ用、リクエストによる“愛唱歌”など、レパートリーも豊富です。体の底から声を出しメロディーに集中して歌うのは、いやなことも忘れられて本当に楽しいものです。

歌うことの楽しさを知りたい方に、どんどん参加して欲しいと思います。初心者大歓迎ですので気軽にお越しください。お待ちしております。

練習は毎週火曜日午後1時～4時。飛鳥公民館で。

連絡先 松石 (☎@8110)



樹音の会

詩の愛好者が集まって、自作の詩の合評会をしている自主サークルです。現在会員は20人で、みんな詩に関しては素人の主婦。日々の出来事や感じたことを自分なりの言葉で表現しようと、自作の詩を持ちよっては“こんな言葉にしたら…”とか“この一節はよくわかる”など、みんなで話し合っています。



会誌「樹音」
年4回発行している

20代から60代まで年齢層もさまざままで、出てくる詩も自然にバラエティ豊かです。娘の受験を書いた詩もあれば、入院中窓から見た景色を心象風景に重ねたものもあり、ドラマのような空想の(?)恋を書いたものもあり。また最近、会員の一人のハツロさんが処女詩集「たねが翔ぶ」を出版しました。会誌に発表した詩などを38編おさめたもので、会員みんなの詩作への意欲をかきたててくれます。

「詩」を通じて、積み重ねてきた人生の喜怒哀楽を文字に表現する。そして心の裡にあるページを静かにめくる…。そんな時間をいっしょに過ごしてみませんか。1度見学にお越しください。お待ちしております。

合評会は毎月第2・4木曜日午前10時～正午に中央公民館で開いています。

連絡先 ハツロ (☎@7877)

お・し・ら・せ・
く・だ・さ・い

地域での催し、スポーツ大会、祭りなどのあなたの町のイベントや行事、ユニークな活動をしている人などを知らせて下さい。取材にうかがいます。

また、地域で行う行事の参加者を募集するなどのPRにも利用してください。(この場合は掲載希望月の2か月前に連絡を)

サークル紹介は、来年1月から掲載希望の募集を再開します。

<連絡先> 市役所広報公聴課 (〒630二条大路南一丁目1-1 ☎@1111)

お気軽にどうぞ。お待ちしております。

伝言板

「辰市ダンス同好会」が
できました

会員の健康維持と親睦交流を目的として、新しく初心者向けのダンスサークルを結成しました。気軽にどなたでもご参加ください。辰市地区民生児童委員協会が協賛しています。

<とき> 毎週火曜日午後7時～9時

<ところ> 辰市小学校体育館

<その他> 上ぐつか運動靴を持参してください

問い合わせは 松田 (☎@5479) まで。

薬師寺 西ノ京町457 ☎33-6001

「写経」

毎日(9:00~17:00) 写経道場
 ●51年4月の金堂再建、56年4月の西塔再建は写経勸進によって復興されたもので、般若心経、薬師経、唯識三十頌序がある。
 ※納経料 般若心経1,000円・薬師経3,000円・唯識三十頌5,000円

「法話」

毎月8日と第3日曜日(13:00~16:00) 写経道場
 ●話し上手な高田好胤管長の法話を聞いて、お釈迦様の心に触れてみませんか。(団体は要予約)
 年頭法話 1月1日(1:00~3:00) 東僧坊
 新春法話 1月1日~1月3日(13:30~15:30) 東僧坊

「吉祥お香とお茶の会」

1月15日(8:30~16:00)
 ●茶会とお香の会に参加して、吉祥天の福をいただきますか。会費5,000円

帯解寺 今市町734 ☎61-3861

「写経と法話の会」

●求子・安産祈願で有名な帯解寺で住職の法話を聞き、写経を試みませんか。信徒会館清和閣において。毎月23日、24日(14:00~16:00)。参加料1,000円(抹茶サービス付)。要予約。

大安寺 大安寺2丁目18-1 ☎61-6312

「松三宝毘布袂みの儀」

1月1日~1月3日
 ●参拝者に松三宝にのせた毘布とお米を授与し、ささ酒を接待します。

「がん封じ祈願とささ酒授与」

毎日。祈祷料1人2,000円から。団体は要予約。

「般若心経のつどい」

毎月13日、23日(10:00~)
 ●静かな古刹で般若心経を誦誦し写経しましょう。般若心経一巻巻誦誦講へ入講してみませんか。秘法護摩供(13:00~14:00)

しょうりやく
 正暦寺 菩提山町157 ☎62-9569

「瞑想の会」他

毎月第1日曜日(ただし1月は除く)(14:00~17:00)
 ●心静かに静寂の素晴らしさを味わってみませんか。やさしいヨーガと真言宗の行法により自分自身をみつめなおしてみよう。(対象 中学生以上40人まで要予約)
 ※参加料 800円+テキスト代

イベント情報	<p>京・津・奈 広域観光キャンペーン 「古都三縦走」</p> <p>主催/京都市・大津市・奈良市 期間/平成5年3月31日まで バンフレット/奈良市経済部観光課 配布先/☎34-1111 京都市観光部宣伝課 ☎075-752-0215 大津市経済観光物産課 ☎0775-23-1234 上記の3市の観光案内所でも配布</p>	<p>内容</p> <p>「花」「火」「石」「水」をテーマにした「古都三縦走」を片手に古都(京都・大津・奈良)を散策しませんか。キャンペーンアンケートに回答すると抽選により記念品をプレゼントいたします。</p>
	<p>奈良の四季・伝統行事紹介写真コンクール</p> <p>主催/財団奈良市観光協会 募集/平成5年3月20日(出)まで常時受付 応募先/〒630 上三条町23-4 奈良市観光センター内 財団奈良市観光協会 ☎(22) 5200 応募資格/アマチュアカメラマンに限る 発表/平成5年4月上旬 ※応募作品は、返却いたしません。</p>	<p>内容</p> <p>観光協会では、奈良の四季を通じての美しい風景並びに奈良市内の伝統行事を広く紹介するため、奈良の四季風景及び伝統行事の写真を募集します。 [サイズ] カラープリント、キャビネ以上4ツ切までの単写真</p>
	<p>大和は歴史の道で会いましょう</p> <p>主催/奈良県歩け歩け協会 と き/平成5年2月14日(日) 小雨決行 午前9時半 近鉄奈良駅行基菩薩堂前集合 参加費/無料。ただし、拝観料等は各自負担です。 申し込み/不要。当日上記場所に集合して下さい。 問い合わせ/奈良県歩け歩け協会 ☎07442(4)0237安東まで</p>	<p>コース(約16km)</p> <p>若草山から奈良町を歩く 近鉄奈良駅前→東大寺二月堂→若草山山頂→春日奥山→妙見堂→高畑→新薬師寺→元興寺→奈良町街→近鉄奈良駅 近鉄奈良駅にて午後3時 解散の予定</p>
	<p>“冬の渡り鳥を歴史の道に求めて”公開探鳥会</p> <p>主催/日本野鳥の会奈良支部 と き/平成5年2月7日(日)午前9時平城宮跡バス停前に集合→正午 参加料/無料。ただし小学生以下は保護者同伴 持ち物/両足、防寒具、あれば双眼鏡(弁当、水筒については自由) 問い合わせ/日本野鳥の会奈良支部事務所 三条添川町2-20まで ☎(36) 4682 連絡時間/毎週金曜日午後7時半~9時</p>	<p>内容</p> <p>平城宮跡→水上池→磐之媛命陵→ウツナベ・コナベ池→自衛隊前(解散)約5kmの行程です。 ●このようなコースをめぐって、カルガモ、ヒドリガモなどのカモの仲間やアオサギ、ダイサギなどのサギの仲間、その他多くの冬鳥との出会いが楽しめます。 ●野鳥観察が初めての方でも楽しめるよう、日本野鳥の会奈良支部のメンバーが道案内と観察の手引をします。</p>
<p>修二会见学と奈良町その周辺の寺々を探索してみませんか</p> <p>主催/奈良県ユースホステル協会 と き/平成5年3月6日(出)~7日(日) (6日午後4時 奈良ユースホステルに集合) 申し込み/〒630 法蓮町1716 奈良Y・H内奈良県Y・H協会「観光キャンペーン」係 ☎(22) 0004</p>	<p>内容</p> <p>初日の夜に東大寺二月堂で行われる伝統行事(修二会)のおたいまつ(10本)を見学します。翌日は江戸末期から明治にかけての奈良町の面影を伝える町並みを歩きながら、奈良町資料館→十輪院→元興寺(極楽坊)→今西家書院[昼食(抹茶・精進料理)]→福智院を見学します。会費(1泊3食付):会員¥12,000、非会員¥14,000</p>	
<p>大和とくとく朝市</p> <p>主催/奈良商工会議所青年部 日時/平成5年2月7日(日) 3月7日(日) 午前7時~10時 場所/JR奈良駅前広場 問い合わせ/奈良商工会議所青年部 ☎(26) 6222</p>	<p>内容</p> <p>市民のコミュニケーションの場として、菓子、茶、野菜、魚、果物、手づくり味噌、しょう油、リサイクル品、日用雑貨などを販売します。イベント手帳持参者に小花プレゼント。</p>	

このほかにも盛りだくさんの催し~くわしくはイベント手帳で

市役所観光課、西部・北部・東部各出張所、観光センター、近鉄・JR両奈良駅と猿沢の各観光案内所、旅館、ホテルで配布しています。ぜひご利用ください。

12月15日～
3月18日

奈良大和路キャンペーン イベントガイド

特別イベント

興福寺 登大路町48 ☎22-7755

「散華写経奉納」

キャンペーン期間中。

●西国三十三カ所観音霊場、第九番南円堂の平成大修理奉讃のため散華写経を興福寺本坊または、南円堂勸進所において受付。奉納いただいた散華は、南円堂に永久保存し、毎月17日に御祈願申し上げます。※2枚1組1,000円。

「興福寺仏教文化講座」

毎月第2土曜日(13:00～16:00)興福寺会館にて開講。

●仏教や仏教美術など、それぞれの専門家を招いて解説する入門講座。※受講料は無料・定員120人・直接会場へお越しください。

奈良市観光センター(1F) 上三条町23-4 ☎22-3900
奈良市中央公民館(4F) ☎26-6506

「奈良のお菓子展」

- ・主催 奈良県菓子工業組合奈良支部
- ・展示場所 奈良市観光センター
- ・日時 12月16日～12月17日(10:00～18:00)
- 奈良市内のお菓子屋さん、奈良のお菓子を展示・即売。
※イベント手帳持参者には、お菓子が1割引。

「お水送り お水取り 写真パネル展」

- ・日時 平成5年2月15日～3月14日
- ・展示場所 奈良市観光センター
- ・主催 奈良市・(社)奈良市観光協会
- ・協力 小浜市・東大寺
- ・内容 小浜市で行われた「お水送り」の写真コンテストに入選した写真パネルと「お水取り」の写真パネルを約30点展示

「拓本教室」

- ・主催 日本墨彩拓美術協会
- ・実施場所 奈良市中央公民館4階(第4講座室)
- ・日時 2月7日(日)
- ・初心者コース(正しい基本技法)(9:00～12:00)
- ・新しい彩色立体拓技法(13:00～17:00)各コースとも拓本についての講義を受けたあと、拓本づくりにチャレンジ。当日参加者は、拓本用具、用紙が1割引。
- ・講師 日本墨彩拓美術協会会長 内田弘慈 他
- ・費用 午前の部3,000円(材料費)
午後の部5,000円(材料費)
- ・定員 各50人(多数の場合抽選)
- ・申込先 奈良市二条大路南一丁目1番1号
奈良市役所観光課 キャンペーン拓本係まで
(往復ハガキにて要予約)
- ・申込締切 平成5年1月30日(当日消印有効)

十輪院 十輪院町27 ☎26-6635

「一願不動尊大護摩供」

毎月8日・18日・28日(休み12/28)・1月28日は新春大護摩供
時間14:00～15:00 団体要予約 (甘酒接待あり)

今西家書院 福智院町24 ☎23-2255

「利き酒と酒蔵見学」

2月の毎週日曜日(13:00～16:00)500円 要予約
●今西家書院横の今西清兵衛商店では、お酒造りの全工程が見学できる(おみやげ付)。利き酒もできる。
(プレゼント)酒袋で作ったコースター、利き猪口、しほりたて酒粕を全員にプレゼント。

東大寺 雑司町406-1 ☎22-5511

「写経」

毎日(9:00～17:00)写経道場

●百字心経「華嚴唯心偈」と五字の経文「心造諸如来」の2枚で1セット。大仏様の胎内にお納めして所願成就をご祈念申し上げます。お葉書で御申出頂きますとお送りします。※納経料1,500円

奈良公園 (飛火野)

「鹿寄せ」

主催 奈良の鹿愛護会(☎22-2388)

12月15日～12月27日と1月5日～3月18日(10:00)

●フレンチホルンの音色に誘われて多くの鹿が集まってくる光景は、奈良でしか見られない風景。朝の奈良公園を散歩して、鹿と一緒に遊んでみよう。奈良公園(飛火野)で実施。

春日大社 春日野町160 ☎22-7788

「古式料理コース」

キャンペーン期間中

●旬祭の折、神に供した品を頂戴した習わしがあり、この饗膳が“中甸の献”といわれる古式料理で桂昌殿等で食べられる。(参加者は宝物殿・萬葉植物園の入館・入園無料)参加費1人4,500円(電話にて希望日の7日前までに10人以上で要予約)

「“春日信仰を体験しませんか”コース」

●中臣祓(大祓)を簡素にした最要祓を心を込めて書き写し、日頃の自分を見つめ直し、日常生活において知らず知らず犯した罪を悔い改めた後、古来より伝わる古式料理“中甸の献”を賞味下さい。(参加者は宝物殿・萬葉植物園の入館・入園無料)参加費1人5,500円(電話にて、希望日の7日前までに10人以上50人までで要予約)

「大祓書写」

●最要祓を書き写し、春日大社の大前に奉納することにより、心身の浄化と共に、大神様のご神徳を戴くことができる。
毎月1日、11日、21日(13:00～16:00 随時受付)
参加費:1,000円

新薬師寺 高畑町1352 ☎22-3736

「天平の夢を……結ぶ会」

毎月第3土曜日の午後5時集合、翌日の午前10時解散

参加費 12,000円(1泊2食付・税別)

定員 女性のみ30人(団体の場合、男女可)

●夕食(萩御膳)後、住職のお話や夜間特別拝観、五右衛門風呂入浴などを体験する。電話にてできるだけ早く要予約。

西大寺 西大寺芝町1-1-5 ☎45-4700

「初釜成人式記念大茶盛式」

1月15日(10:00～16:00)1,000円

●大茶盛は鎌倉時代から始められ、特に江戸時代からは愛染様の縁日に多く行われるようになったため、「和合のお茶」「縁結びの大茶盛」といわれるようになった。

※30人以上で予約すれば1月15日以外でも可能。1,000円

光明真言「写経」

毎日※納経料1,000円

喜光寺 菅原町508 ☎45-4630

「いろは写経」

毎月2日(喜光寺縁日)(10:00～16:00)

写経と法話 納経料 2,000円

〇…同キャンペーンの問い合わせは市役所観光課(☎34-1111)、市観光協会(☎252000)へ。

家屋実態調査にご協力を

市では、新築・増改築家屋を中心に家屋の実態調査を行っています。

この調査は、固定資産税の課税に必要なものです。調査のため、資産税課の職員が各家庭を訪問しますので、ご協力をお願いします。なお、係員は調査員証を持っています。ご不審の場合は提示を求めてください。

市役所資産税課

住宅用地の異動申告を

住宅用地に対する固定資産税には、税負担を軽減する特例措置があります。

住宅用地の認定を行うため、つぎのような場合には住宅用地の申告をしてもらうことになっています。

- ▼住宅を新築・増築した場合
- ▼家屋の用途を変更した場合
- ▼住宅が滅失した場合
- ▼土地の売買等により住宅用地に変更があった場合

申告は来年1月31日まで市役所資産税課へ。

新築・増築・減失

家屋の届出を

家屋の新築・増築・減失などを行った場合は、市役

所資産税課へ届け出てください。

通産省の工業統計調査にご協力を

通商産業省の「工業統計調査」が、12月31日現在で全国一斉に実施されます。

この調査は全国の製造業事業所を対象に、工業の実態を明らかにする目的で行われており、調査の結果は各種の計画・立案の基礎資料として利用されます。

また、石油を中心とするエネルギー消費の実態や動向を把握するため、石油等消費構造統計調査も同時に実施されます。

これらの統計調査の結果は、統計以外の目的に使われることは絶対ありません。

知事から任命された調査員が12月中旬に事業所へうかがいます。ご協力をお願いします。

シルバー人材センターで

包丁・はさみの刃物研ぎ

(奈良市シルバー人材センター)が、リサイクルを進めようと、家の片隅で眠っている家庭用包丁・はさみ(ステンレス製は不可)の刃物研ぎをつぎのように

じめます。

とき：12月7日から毎週

月曜日午前10時～正午(祝日は休み)

▽ところ：市シルバーワークプラザ(二

条大路南一丁目一三〇)▽料金：包丁625円、はさみ825円、刃こぼれ・柄の取り

替えは実費▽問い合わせ：同センター(☎34004)へ。

わが家の家計簿・生活

設計体験談を募集

県貯蓄推進委員会と貯蓄広報中央委員会が合理的な生活設計と計画的な家計管理の重要性を広く訴えようと次のように募集します。

【募集期間】12月1日～来年2月28日

【内容】家計簿をつけて生活に生じた変化やアイデア、工夫など

【原稿】①400字詰原稿用紙5枚以内。簡単な支出内訳表(期間は自由。収入計数は書かなくても可)を添付してください

②原稿には応募者の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、職業、年齢、同一家計で暮らす家族の名前、応募者との続柄

年齢、職業、学校・学年、家計簿記載年数、電話番号を書いてください

③作品

ご利用ください 高齢者在宅介護支援センター

高齢者在宅介護支援センターは、寝たきり等の高齢者を家庭で介護している人に対し、適切な介護の仕方など在宅介護に関するいろいろな相談に応じ、関係機関との連絡調整などを行うセンターです。

現在、つぎの3カ所で、専任の生活指導員、保健婦が相談に応じていますので、気軽にご利用ください。相談は無料です。

- ・平城園在宅介護支援センター 秋篠町1567 特別養護老人ホーム「平城園」内 ☎01110 FAX06567
- ・やくしの里在宅介護支援センター 高畑町210 老人保健施設「やくしの里」内 ☎8002 FAX8003
- ・サンタマリア在宅介護支援センター 朱雀四丁目3-10 特別養護老人ホーム「サンタマリア」内 ☎7733 FAX6272

【受付時間】午前9時～午後5時(緊急の場合は時間外も受け付けます)

【相談内容】在宅介護の方法や介護用品などについての指導・助言。デイサービス、ショートステイなどの各種保健福祉サービスの利用についての紹介や申請の取り次ぎ。その他在宅介護に必要な情報の提供

は未発表のものに限り

④封筒の表面に「家計簿体験談」と書いてください

⑤応募作品はお返ししません

【入選発表】来年6月に入選者に直接通知します。特賞者についてはテレビ、新聞などで発表

【送付先】県貯蓄推進委員会(〒630登大路町 奈良県庁県民生活室内 ☎21101)へ。

おん祭お渡り式

の参加者を募集

春日若宮おん祭保存会が

12月17日(火)に古式ゆかしく行われる「お渡り式」の行列参加者をつぎのとおり募集します。

募集人数：大名行列の侍など約30人(18歳以上の健康な人)▽参加費：3千円▽申し込み：はがきに住所、氏名、電話番号を書いて、12月7日までに同保

存会(〒630春日野町一六〇 春日大社内 ☎7788)へ。

奈良ロータリークラブが

友愛大賞を募集

奈良ロータリークラブが

つぎのとおり募集します。

受賞対象：環境保全に対する奉仕をしている個人・団体▽賞：友愛大賞1点(賞金50万円)、友愛賞2点(賞金10万円)▽応募：推薦者による推薦応募(自薦も可)。はがき封書で、推薦者の住所・氏名・電話番号、受賞対象者の住所・氏名・電話番号・奉仕内容を書いて、1月20日までに同クラブ(〒630高畑町一〇

九六奈良ホテル内 ☎1300)へ。

九六奈良ホテル内 ☎1300)へ。

特定疾患の人に
お見舞い

市では、特定疾患の患者さんにお見舞品を贈っています。

対象となる人は、市在住で国の指定するつぎの特定疾患治療研究事業対象疾患の患者で、12月28日までに印鑑と県発行の特定疾患医療受給者証かその写しを持って市役所厚生課で手続きしてください。

【対象特定疾患】ペーチェット病▽多発性硬化症▽重症筋無力症▽全身性エリテマトーデス▽スモン▽再生不良性貧血▽サルコイドーシ

ス▽筋萎縮性側索硬化症▽強皮症・皮膚筋炎および多発性筋炎▽特発性血小板減少性紫斑病▽結節性動脈周囲炎▽潰瘍性大腸炎▽大動脈炎症候群▽ビュルガー病▽天疱瘡
脊髄小脳変性症▽クローリン病▽劇症肝炎▽悪性関節リウマチ▽パーキンソン病▽アミロイドーシス▽後縦靱帯骨化症▽ハンチントン舞踏病▽ウイリス動脈輪閉塞症▽ウエゲナー肉芽腫症▽特発性拡張型(うっ血型)心筋症▽シャイ・ドレーガー症候群▽表皮水疱症(接合部型および栄養障害型)▽膿疱性乾癬▽広範脊柱管狹

窄症▽原発性胆汗性肝硬変▽重症急性膵炎▽特発性大腿骨頭壊死症

県立盲学校が生徒募集

募集課程：高等部保健療科・専攻科療科

▽取得免許：あんまマッサージ指圧師、はり師・きゅう師(専攻科のみ) ▽学力検査と選考：3月15日(月)。学科試験、健康診断、面接

▽願書受け付け：2月18日～2月26日 ▽問い合わせ：県立盲学校(大和郡山市丹後庄町二二二 ☎07435⑥3171)へ。

奈良少年少女合唱団
団員を募集

資格：幼稚園年長組から中学生 ▽申し込み：はがきに住所、氏名、学校名・学年、性別、保護者名、電話番号を書いて、12月15日までに奈良少年少女合唱団(〒630西木辻町二〇〇青少年児童会館内)へ ▽問い合わせ：同団の吉田凌子さん(☎0808)へ。

催し・教室

花木の展示即売会

とき：12月12日(出)・13日

(日)午前9時～午後5時 ▽ところ：市農協平城支所(秋篠町二二四一～二 ☎4621) ▽販売品目：花木・植木・盆栽など ▽問い合わせ：同支所へ。

東老春の家

〒630 法蓮町一七〇二一 ☎243151

年忘れ素人演芸大会と

とき：12月15日(日)午前10時～午後3時 ▽対象：60歳以上の人は自由に観覧できます。

西老春の家

〒630 百楽園一丁目九一三 ☎3151

新春百楽園寄席 とき：1月10日(日)午後1時から

▽定員：60歳以上の人200人 ▽出演：奈良大学落語研究会の学生 ▽申し込み：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて同所へ。

ならこやま

屋内温水プール

左京五丁目三二一 ☎70774

ふれあいレクリエーション大会 とき：12月23日(祝)午後1時～4時 ▽定員：小学生以上の知的障害児とその家族45組 ▽保険料：-

100円 ▽内容：綱引きなどのゲーム ▽申し込み：住所、氏名、年齢、電話番号、家族の人数を電話かファクスで12月16日までに同プールへ。多い場合は抽選。

母子福祉センター
「母と子の家」

〒630西木辻町一五九二四 ☎2552

クリスマス会とお餅つき

とき：12月20日(日)午前10時～午後1時 ▽対象：母子家庭の母と子(高校生まで) ▽入場：無料 ▽申し込み：はがきに住所、母と子の氏名、学年または年齢、電話番号を書いて、12月10日までに必着で同所へ。

母子家庭の親子を
アニメ映画に招待

とき：12月21日(月) 上映：第1回は午前10時から、第2回は午前11時半から、第3回は午後1時20分から

▽ところ：史跡文化センター(三条大路一丁目) ▽上映映画：「ピノキオのおくりもの」他二本 ▽招待：母子家庭の母と子100人 ▽申し込み：はがきに住所、母と子の氏名、学年・年齢、電話番号、希望の上映時間を書いて、12月11日までに必着で市社会福祉協議会

クリスマス劇
フェスティバル

平城児童センター(社会福祉法人宝山寺福祉事業団)

の児童劇団「のびっこ」がつぎのとおり行います。

とき：12月24日(木)午後3時半開演 ▽ところ：ならまちセンター(東寺林町) ▽内容：クリスマスのおふしぎ、新・どろかぶら考など ▽入場：200円 ▽申し込み：12月15日までに電話かはがきで同センター(〒631歌姫町一〇〇 ☎2716)へ。

奈良少年少女合唱団の
定期演奏会

とき：12月20日(日)午後5時半開演 ▽ところ：史跡文化センター(三条大路一丁目) ▽内容：オペラ「アイーダ」より他 ▽入場：無料 ▽問い合わせ：同合唱団の吉田凌子さん(☎0808)へ。

しきじ しみん つど
識字・市民の集い

「21世紀までに非識字の解消を」という国際識字年の趣旨の徹底と実現に向けての取り組みの充実を図るために開きます。

とき 1月20日(日)午後1時半～3時半
ところ ならまちセンター市民ホール(東寺林町)
内容 識字学級生2人による事例発表
講演「文字のおもしろさ」
山田法胤氏(薬師寺執事)
定員 300人
申し込み 不要。当日直接会場へ。
その他 手話通訳があります。
問い合わせ 市役所女性青少年課へ。

○：12月10日～25日は国民健康保険料(第5期)の納期です。保険料は皆様の健康を守る大切な財源です。○

中央図書館

〒630 東寺林町三八 ☎ 26 6101

児童文学講演会 とき：12月19日(出)午後1時半～3時

▽ところ：ならまちセンター市民ホール(東寺林町)

▽テーマ・講師：「おはなしの宅急便」角野栄子さん(児童文学作家)

▽定員：300人 ▽申し込み：往復はがきに住所・氏名(返信用にも)、年齢、電話番号を書いて、12月12日までに必着で同館へ。多い場合は抽選。

西部図書館

〒631 鶴舞西町一ー一 ☎ 45 5669

児童文学講演会 とき：12月16日(出)午前10時～正午

▽テーマ・講師：「自然と私の絵本づくり」甲斐信枝さん(絵本作家) ▽定員：80人 ▽申し込み：電話で12月13日までに同館へ。

ならまち写生会作品展

11月14日に実施した「ならまち写生会」の特別展をつぎのとおり開きます。 とき：12月1日(火)～25日(金)午前9時～午後5時(25日は3時まで) ▽入場料：なし

ならまち格子の家ギャラリー「格子」(元興寺町) ▽展示作品：特選・準特選作約15点 ▽問い合わせ：ならまち振興財団(☎ 21 1820)へ。

奈良マーチャント シートセンター

〒630 橋本町三ー一 ☎ 9403 FAX 9404

パソコン表計算実践コース とき：1月19日(火)・20日(水)・22日(金)の3日間。コースNo.(P41) ▽午前10時～午後1時、コースNo.(P42) ▽午後2時～5時 ▽定員：各10人 ▽テキスト代：3千円 ▽締め切り：1月9日

パソコン通信コースと き：1月8日(金)。コースNo.(P51) ▽午後1時半～4時半、コースNo.(P52) ▽午後5時半～8時半 ▽定員：各10人 ▽テキスト代：3千円 ▽締め切り：12月24日

ワープロ基礎コースと き：1月26日(火)・27日(水)・29日(金)の3日間。コースNo.(W11) ▽午前10時～午後1時、コースNo.(W12) ▽午後2時～5時 ▽定員：各10人 ▽テキスト代：3千円 ▽締め切り：1月16日

就業を希望する 女性のための講習会 POP広告と販売 とき：1月6日～3月9日の毎週月・水・金曜日午前9時半～午後3時半。24回 ▽ところ：婦人会館(登大路町) ▽定員：30人 ▽内容：POP(スーパー等のデザイン広告)、クリエイター技能審査3級、商品知識・販売実践

日 申し込み▽はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、職業、コースNo.・受講月を書いて、各締め切り日までに同センターへ。ファックス、しるくんネットセンターあてメールも可。多い場合は抽選。

公民館

で本人が直接申し込んでください。

各公民館の教室への申し込みは、往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を書いて締め切り日までに必着で。はがき1枚にひとり1教室。多い場合は抽選。受講料は不要。材料費は自己負担。

中央公民館

〒630 上三条町二〇四ー一 ☎ 26 6506

絵画教室 とき：12月12日(出)午前9時半～11時半 ▽定員：小学4～6年生20人 ▽締め切り：12月8日

都跡公民館

〒630 五条町二〇四ー一 ☎ 34 5954

子ども料理教室 とき：12月12日(出)午前9時半～午後1時 ▽定員：都跡中学校区の小学5・6年生20人 ▽内容：カレーえびピラフ、キャベツの洋風煮、クリスマス用デコレーションケーキなど ▽材料費：約500円 ▽締め切り：12月10日

スポーツ

卓球の集い

学校週5日制に伴い第二土曜日に施設を無料開放し、次のように行います。 とき：12月12日(出)午前9時半～11時半 ▽ところ：中央体育館(法蓮町) ▽対象：小学3～6年生 ▽内容：初歩的な技能、簡単なゲーム ▽申し込み：不要。当日午前10時までに会場へ ▽その他：体育館シューズを必ず使用してください。用具のある人は持参してください。

武道・座禅・茶・華道教室

剣道教室 1月11日から 毎週月・火・金曜日の午後5時～6時。小学生以上の初心者30人 剣道一般教室 1月11日から 毎週月・火・木・金曜日の午後6時～7時。有段者10人 柔道教室 1月12日から 毎週火・木曜日の午後5時半～7時、土曜日は午後2時～3時半。小学2年生から35歳までの人30人 なぎなた教室 ①1月12

日 1月9日から毎週木・土曜日の午後2時～3時。小学2年生から50歳までの人10人 やり教室(宝蔵院流) 1月9日から毎週土曜日の午後1時～2時。高校3年生から50歳までの男子10人 弓道教室 1月16日から 毎週土曜日の午後5時～7時。高校生以上の人20人 座禅教室 1月10日から 毎週日曜日の午前7時～8時半。高校生以上の人10人 茶道教室(裏千家) 1月14日から毎週木曜日の午後1時～4時。50歳までの人10人 華道教室(翠華流) 1月14日から毎週木曜日の午後1時～4時。50歳までの人10人

日 申し込み▽往復はがきに住所、氏名(学生は学校名と学年)、年齢、性別、電話番号、希望教室名を書いて12月19日までに必着で市 武道振興会(〒630 法蓮町一五三〇中央第二武道場内 ☎ 6163)へ。多い場合は抽選。参加料は各教室3カ月で千500円(武道は傷害保険料含む)。茶・華道教室は別に材料費が必要。

中央体育館開放日

法蓮町 ☎241501

【とき】 12月12日(日)午後1時～4時：混雑時には時間制

【種目】卓球

※学校などのクラブ活動はできません。体育館シューズを必ず使用してください。用具のある人は持参してください。

鴻ノ池陸上競技場開放日

法蓮町 ☎220001

【とき】 12月20日(日)①午前9時～11時：体力測定、ジョギングなど ②午後1時～4時：ジョギング、競技練習(投てきはなし)
※学校などのクラブ活動はできません。運動靴を必ず使用してください。

健康



予防接種・健診には母子手帳をお忘れなく

乳がん自己検診講習会

乳がんはがんの中でも自

分で見たり触れたりする自己検診法で早期発見ができます。マスターしませんか。

【とき】 12月17日(木)午前10時～11時半

【ところ】 市役所保健センター

【対象】 30歳以上の女性

【受講料】 無料

【申し込み】 電話で市役所保健センターへ。

子宮がん・乳がんの検診 年一回は受けましょう

【対象】 両検診とも30歳以上の女性

【料金】 30歳～69歳：子宮がん(頸がん)検診は千円(体がん検診を同時に受けられる人は千700円)、乳がん検診は400円(医療機関で支払う) △70歳以上と生活保護・住民税非課税世帯：無料(申し込み時に申し出を)

【申し込み】 両検診とも電話で12月21日までに市役所衛生課か保健センターへ。申し込み後受診票を送りますので、医療機関で受診してください。

検診車で

胃がん検診

【とき・ところ】 下右表。受付は午前9時半～10時半

胃がん検診日程

1/8(金)	市役所診療所前
1/11(月)	杏南隣保館
1/12(火)	三井佐保山住宅集会所
1/14(木)	学園前団地集会所
1/18(月)	杏中隣保館
1/19(火)	高の原駅前団地集会所
1/20(水)	奈良保健所
1/21(木)	押熊町公民館
1/22(金)	東紀寺三丁目第1自治会集会所
1/25(月)	八条隣保館
1/26(火)	六条緑町集会所
1/27(水)	京西公民館
1/28(木)	朝日町公民館
1/29(金)	若葉台二丁目集会所

【対象】 35歳以上の人(妊婦は除く)

【料金】 35歳～69歳は500円。70歳以上と生活保護・住民税非課税世帯の人は無料(申し込み時に申し出を)

【申し込み】 電話で12月20日までに市役所衛生課または保健センターへ。

幼児歯科教室

【とき】 Aコース：11月11日(月)・28日(木)、Bコース：1月25日(月)・2月4日(木)。時間は各午後1時半～3時半

【ところ】 A：西奈良保健センター(登美ヶ丘二丁目)、B：奈良保健所(西木辻町) △定員：2歳児とその保護者各コース30組

▽内容：むし歯の予防、かむことの大切さ、幼児の食生活について △持ち物：母子健康手帳、歯ブラシ、コップ、タオル △

4カ月児健康診査

【対象】 生後4カ月の子

【内容】 身体計測、問診、内科検診、栄養・離乳食・生活の各指導ほか神経芽細胞腫の検査紙の交付

【日程】 奈良保健所(西木辻町 ☎6171) △毎月第1・2・3・5火曜日午前9時～10時に直接同所へ。

△西奈良保健センター(登美ヶ丘二丁目 ☎5911) △毎月第1・2・3・4月曜日午前9時～10時。各日西奈良地区在住者30人。電話予約が必要。

年末・年始の犬の捕獲・引取り業務

年末・年始の犬の捕獲・引取り業務をつぎのとおり休みます。くわしくは奈良保健所(☎6171)へ。

【奈良保健所】

捕獲業務=12月19日(土)～1月17日(日)は休み
引取り業務=12月25日(金)～1月5日(火)は休み

【西部出張所、平城・帯解・辰市連絡所】

引取り業務=12月19日(土)～1月7日(日)は休み

【東部出張所】

引取り業務=12月22日(火)～1月17日(日)は休み

妊婦のための母親教室

□対象 予定日が来年5・6月で原則として4回受講できる初妊婦40人
□ところ 市役所保健センター
□とき・内容 時間は午前9時半～正午

1/6(水)	妊娠中のくらしかた
1/14(木)	妊娠中の歯の衛生 妊娠中のたべもの
1/22(金)	楽なお産をするために
1/29(金)	赤ちゃんの育て方 産後のくらしかた

□申し込み 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、出産予定日、母親教室希望と書いて12月20日までに市役所保健センターへ。多い場合は抽選。

3歳児健康診査

【対象】 昭和63年9月1日～平成元年8月31日生まれの子(3歳6カ月時に個人通知します)

【木辻町】
【内容】 視聴覚問診、身体計測、検尿、歯科診察、内科診察、総合保健指導
【問い合わせ】 奈良保健所(☎6171)へ。



⑨

三笠山おろしが肌をさす師走半ばの奈良春日野。淡彩の古都で春日大社の参道がいつ時、極彩の帯を広げたような華麗さでつつまれる。大和の納めの祭り「春日若宮おん祭り」のお渡り。

渡御のハイライトは影向の松のもとで、猿楽や狂言、田楽などの奉納がある「松の下の儀」。どれもわが国芸能のルーツとして貴重な存在だが、中でも田楽の、高足駄に大きな花笠をのせた笛吹法師のユニークな姿が人目をひく。

目をひいたついでに小さく見ていくが、花笠ののっかった能の高砂や猩猩など木彫りの人形に注目して欲しい。田楽が曲芸のルーツなら、花笠の人形が奈良一刀彫りのルーツなのである。

田楽人形、奈良人形ともよばれたその生い立ちには平安時代にまで遡り、花笠と共に盃をのせる盃台の飾りの一部にも用いられた。

製作には春日有職の検物師が当たったが、江戸時代にはいるとその検物師の出の岡野松、寿が、飾り物の一部から鑑賞にたえる独立人形に。さらにそれを江戸末期に出た森川杜園が、今日見られるよ

奈良一刀彫のルーツはおん祭り花笠人形

— 美術品へのパイオニアは森川杜園 —



に、四十七歳で皇室から彫刻奉納を命じられている。

いま商工館や土産店には、きらびやかな一刀彫りの能人形や立雛が並ぶ。その基礎を築いてくれたのは、ならまちに生き仕事をした森川杜園。

こうした事と奈良一刀彫りのルーツが「おん祭り」に……など思いを馳せながら、大和の納めの祭りを眺め申歳を締めくくりたい。

文・吉田 麩子
絵・星野 京

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましよう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましよう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましよう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましよう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましよう。

(編)(集)(後)(記)

人権のページの裁判官の文は、職員研修で使われた文です。私自身が働く女性なのに裁判官=母親が浮かばず、義理の父親だと思ってました。まだまだ未熟だ。(花)

今月から大和路キャンペーンが始まります。寒くなると出るのがおっくうになりそうですが、寒さに負けずいろいろキャンペーンの催しに参加してみようかな。(J)

今回掲載した資源回収作業場で回収された資源の量は昨年1年で約2,000t。この数字をどう見るかはみなさん次第。私はもう一度身のまわりからリサイクルを考えてみようと思います。(N)

済美南小フェスティバルでの鉛筆削り競争。実に器用に?危なっかしくそしてごちなく、でも真剣に鉛筆と奮闘する子どもたち。そのお手本を示す地域のおじいちゃんやさしい目。とても印象的でした。(T)

わたしの詩...



神功小学校6年

大石 麻衣子

秋の夕焼け空

秋の空にうかぶオレンジ色のうろこ雲
どんどん空の色に染まっていく山
うろこ雲は流されながら形を変えていく
空の色はいっそうこくなって
雲を見えなくする
山はくっきり映しだされてる
だんだん太陽が落ちていくと
空の色と山の色同じになる
空が青紫になったら
夕焼けは終わりに近づく
明日もまたこの夕焼けに会えるだろうか

編集・発行 奈良市役所広報公聴課

〒630 奈良市二条大路南一丁目1番1号 ☎34-1111